

# 日持ちが極めて良いカーネーション品種「カーネ愛農1号」

日持ちが極めて良く、需要の高いピンクの花色で、秋期から高品質な切り花となるカーネーション品種

## 研究開発の背景

- ・輸入切り花カーネーションが増加傾向にあり、国内流通量に占める輸入の割合は54%(H26年度)と推定されている。
- ・国産花きの強みである鮮度や日持ち性の良さを活かすことのできる品種が求められている。

## 研究成果の内容

### 日持ちが極めて良く、秋期から出荷可能なカーネーション品種

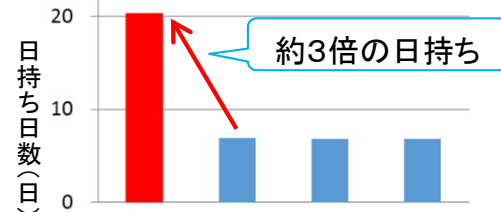


品種名	開花日	下垂度	年内収量 (本/株)
カーネ愛農1号	10/2	1.0	3.0
シルエット	11/5	1.3	1.7

下垂度: 切り花頂部より45cmの位置で水平に支え、先端の下垂程度を水平面から測定し、0~10°を1、10~20°を2、20~30°を3とした。

### 品種特性

- ・日持ちが良い=長期間観賞できる。



カーネ愛農1号 チカス ミルキーウェイ シルエット  
試験場件: 花柄5cmの花、25°C、湿度60%、前処理剤未使用

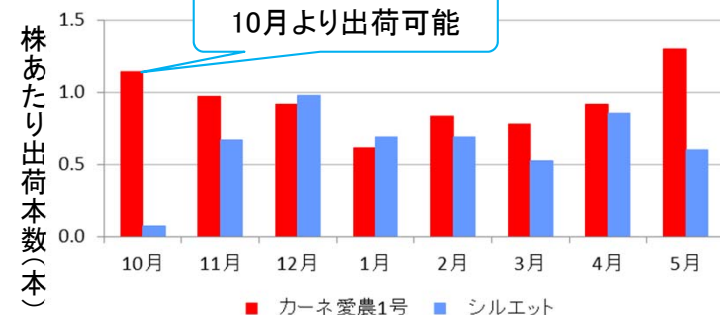
- ・ピンク色の花色で花径が大きい=需要の高い色で、幅広く利用できる。
- ・開花が早く一番花から茎が硬い=暖地では10月から早期出荷できる。
- ・種苗会社3社(フジ・プランツ(株)、(株)M&Hブルーメン、(有)美香園)が利用許諾済み(H29.2現在)。

### 日持ちが良い

- ・日持ちが極めて良いため、日持ち保証販売に対応可能な切り花を出荷できる。

### 早期出荷が可能

- ・暖地では国産カーネーションの端境期となる秋期から高品質な切り花を多く出荷でき、年内収量が増加する。



導入メリット

## 期待される効果

- ・日持ちの良い国産カーネーションの有利性が強化され、国産切り花の需要拡大に貢献。
- ・端境期に出荷することで輸入品からのシェアを奪還し、国内のカーネーション生産の振興に寄与。

開発機関: 愛知県農業総合試験場、農研機構野菜花き研究部門 予算区分【競争的資金】

導入をオススメする対象  
寒冷地作型及び西南暖地作型の全国のカーネーション生産者